

こんにちは 町長です

～小学校統合について～



皆様もご案内のように、小鹿野町の子どもの出生者数は年々減少し、平成30年度36人、令和元年度33人、令和2年度37人、令和3年度20人と

いう状況で、今後の人口推計でも少子化の進行を食い止めることは非常に困難な状況になっています。

こうした中で、義務教育では町内に4校ある小学校の極小規模化が懸念される状況になってまいりました。このような状況を踏まえ町教育委員会では、今後の小鹿野町の学校教育のあり方について町民の方々からご意見ご提言をいただくために令和元年度には「小鹿野町学校教育推進協議会」を、令和2年度には地区毎の「地区学校教育推進協議会」を設置し、活発な協議をいただきました。

これらの協議の中では、「子どもたちが一定の集団の中で多くの友達と関わり合い、切磋琢磨し合いながら学習・生活することが必要であるので、小学校統合をした方が良いのではないか。」と言ったご意見や、「小規模校は、子ども一人ひとりをよく理解し、その特性を伸ばすことができるので統合ありきではなく、他の方策を検討すべきではないか。」とのご意見などもいただきました。

これらの協議を踏まえ令和3年10月に「小鹿野町の小学校再編整備方針及び実施計画(案)」を町教育委員会で取りまとめました。

この案の概要は、少子化の進展による子どもの数の急激な減少、学級数や配置される教職員数の減少見込みや課題、学校規模によるメリット、デメリット、望ましい小学校教育の環境など、様々な観点から今後の小学校の望ましい教育環境について考察し、その結果、「同一年齢の適正規模の集団が確保された環境の中で、子どもたちが多

くの友達と関わり、多様な考えに触れ、認め合い、切磋琢磨することを通じて、一人ひとりの資質や能力を伸ばしていけるよう、小学校を計画的に1校に統合する。」ということになりました。

この案について、審議をいただくため条例に基づく小鹿野町教育審議会を設け、令和3年11月に諮問し、答申をいただきました。審議会答申の概要は①三田川小学校、長若小学校、両神小学校を小鹿野小学校に統合する。②統合年度は、町内小学校が極小規模化となり複式学教が増えていることを踏まえると「令和6年4月から令和8年4月までの間」とすることが望ましいが、具体的な統合年度については、今後教育委員会が各地域で説明会を行い最終決定していくことが望ましい。ということでした。

町教育委員会ではこの答申を踏まえ、令和4年6月に小学校地区毎の説明会を実施するとともに、アンケート調査も実施いたしました。こうした説明会での意見やアンケート結果を集約し、教育委員会では令和4年8月に「小鹿野町の小学校再編整備(統合)方針及び実施計画」をまとめました。統合の時期や方法は、令和7年4月に4校を一斉統合し小鹿野小学校とすることといたしました。

昨年12月町議会定例会でこの小学校再編整備(統合)方針を踏まえた学校設置条例の改正議案が可決となりました。今後は保護者や町民代表などからなる小鹿野町小学校統合準備委員会でしっかり協議検討いただき統合がスムーズに実施でき、子どもたちにとって統合して良かったと思っただけの教育内容や教育環境を整えてまいりたいと存じます。

小鹿野町長 森 真太郎